

第7回

三原ふるさと子ども博士講座

ようこそ先輩！絵本作家永井郁子先生



平成25年10月12日（土）に中央公民館で行われた「第7回三原ふるさと子ども博士講座」今回は講師として、絵本作家の **永井郁子** 先生にお越しいただきました。

永井先生の指導のもと、久井の昔話『だまされた国造のたぬき』を10の場面に分け、それぞれのシーンにあった絵を考えて実際に絵を描くという本格的な絵本づくりを体験しました。

永井 郁子 ながい いくこ

本郷町出身。

「わかったさんのおかしシリーズ」
「かいぞくポケット」など、多くの
絵本イラストを手がける。

2009年には三原市ふるさと大使
に任命され、三原の子どものために
精力的に公演を行っている。



『だまされた国造のたぬき』

久井町の国造という深い山道に、千年も生きているふるだぬきがすみついていました。日が暮れたあとに村人がそこを通ると、必ずだまされてしまいます。

羽倉村の与さんは、江木で買い物をした帰り道にたぬきにだまされかけてしまいますが、機転を利かせて、どこか腰をかけるところが欲しいとうそぶき、たぬきのきんたまを石に化けさせます。きんたまの石に腰をかけ、きんたまの石の上でキザミタバコを燃やして見事たぬきの化けの皮をはがしました。

それからというもの、国造には一度もたぬきが出ることがなくなりました。

